

# 返礼品PR 若者目線で

## 伊予市 ふるさと納税

伊予市のふるさと納税の返礼品をアピールするため、松山大の学生が仲介サイトなどの紹介ページの充実に取り組んでいる。10品目に絞り、市内の提供事業者を取材。若者の視点で商品の魅力や生産者の思いを発信する。

### 削り節・じゃこ天…

## 松山大生が取材発信

市や松山大などが連携し、2012年から実施している地域活性化事業「i Project」(アイプロジェクト)の一環。学生約30人が10班に分かれ、6月中旬～7月上旬に、それぞれ1品目について提供事業者を取材した。対象とした返礼品は削り節やちりめん、しょうゆなど。班ご

とに担当した品の紹介ページを作成し、8～9月に順次公開を始める予定。

7月6日は学生4人が、女性3人が営む「ふたみじやこ天」(同市双海町上灘)を訪ねた。じゃこ天について、季節ごとに異なる8種類以上の魚を使っていることや作業工程、やりがいを感じることなどを聞き取った。調理の様子を写真・動画撮影し、来店客にもインタビューした。

松山大4年徳永有輝さん(21)は「魚本来のおいしさを味わえるのが印象的。魅力を発信し、選んでもらえるようなページを作りたい」と話した。

伊予市のふるさと納税の返礼品は445品目。2023年度の寄付額は1億6860万円で、21年度の約4倍、22年度の約2倍となっている。

(杉本賢司)

「ふたみじやこ天」を営む女性を取材する松山大生

